

## 平成 18 年度プリムラ利用状況 平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

平成 18 年度プリムラ利用状況													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開設日	20	20	22	20	18	20	21	20	20	19	19	21	240
補助	63	61	57	48	32	55	33	46	74	47	42	59	617
自主	1	2	0	1	1	3	4	6	3	5	2	1	29
合計	64	63	57	49	33	58	37	52	77	52	44	60	646

4 月は水痘、流行性耳下腺炎での利用が多く、そのほか発熱下痢などの所謂風邪症状での利用がありました。

保育園に入園し慣れない環境で体調を崩す子供たちの 利用申し込みが多くなりました。プリムラも 3 年目になり病児保育室の存在も浸透したのでしょうか、申し込みも増えましたが、反面お断りする事も増えてきました。お預かりして差し上げたいのは山々ですが、隔離室に人手をとられ受け入れは困難になる事が多々ありました。

5 月は相変わらず水痘、流行性耳下腺炎での利用があり、そのほかウィルス性胃腸炎、ヘルパンギーナも多くなりました。咽喉が痛くて食欲が少ない子供達には麦茶、イオン水、果物ジュースと好みの水分をなるべく多く摂るようにスタッフも気を配っていました。

5 月から、利用キャンセルの連絡は夜間でも留守電で受け付けるようにしました。前日予約しても、当日の予約キャンセルが多々あり、プリムラ利用のキャンセルは当日 8 時までには連絡をするように変更しました。また前日定員オーバーのために予約が出来ない人も含めて、当日の利用は 8 時から電話受付に変更しました。原則として前日当日とも連絡は早い人順です。当日でもキャンセルがあり利用可能なことがあります。時間の余裕があれば、当日でも改めて電話をしてみてください。

6 月は隔離室の利用は少なく、ヘルパンギーナ、夏風邪の発熱での利用が殆どでした。相変わらず当日のキャンセルは多い状況です。6 月は久しぶりに利用児 0 の日があり珍しく練馬区以外からの利用も 0 でした。蒸し暑い日々が続くなか、プリムラでも除湿、冷房と交互に切り替えて、少しでも心地よくお昼寝が出来るように空調に気を配っています。

7 月は隔離の感染症は 2 人だけで、殆どは夏風邪様でした。昨年の夏よりは梅雨明けが遅く涼しいためか、発熱などの風邪は少なくプリムラ利用も 4 月 5 月より減っています。今年も 7 月 16 日、17 日はプリムラの看護師、保育士と大阪の全国病児保育研究大会に参加しました。他の病児保育室のスタッフとの情報交換や、講演から今後の保育室のあり方に役立つ事柄を各自吸収してきました。プリムラでも通常の保育園と同じように、節分、ハローウィン、クリスマスなどの季節に応じた行事をささやかながら行ってきましたが、

今年はまだもう少し増やして、少しでもプリムラでの1日を楽しく心温まるようにしたいと思っています。

8月は昨年同様、お盆前後の利用は少なくなっています。一般診療でも発熱は少なく、感染症も少ない状況でした。トビヒ、ミスイボ、虫刺されなどの皮膚疾患は多くなっていました。プリムラも3年目になりましたが、まだまだ病児保育室の存在が知れ渡っていない状況です。近くの保育園に通っているながら、最近プリムラを知り登録に来たお母さんもいました。トビヒでは事情で家庭での処置が大変で、プリムラでお預かりをして日中夕方シャワーをしてからクリニックで処置をして涼しく過ごしました。

38度以下の発熱、咳、下痢でも普段と同じように元気がある子供は、プリムラでの生活が3日も続くと病気でもエネルギーを持て余している様子でした。

9月は夏の暑さから残暑も無く急に涼しくなった為か、風邪による発熱が多くなりました。発熱では保育園には連れて行けませんが、咳、下痢では保育園に直ぐに行っています。もう少し休んだほうが良いのと思うこともありましたが、病児保育室は風邪の流行に左右され風邪が流行れば満員になり、保育室も定員を超える事がありますが、本当に風邪が少なくなると利用者がなくなります。9月は利用差が目立った月でした。

プリムラでは9月の十五夜にあわせて保育室をウサギやお月様、すすき、月見団子の飾り付けをして子供達を迎えていました。

#### 9月のお月見写真



10月は例年に無く暖かい気候で中旬までは利用者が少ない状況でしたが、雨の後の寒さで後半は発熱、下痢、咳が多くなりました。今年度からは小学生3年生までの利用が練馬区で認められ1日2000円になりました。子供は病気の時1人で家にいるのは心細いし、家族も心配です。是非プリムラを利用して下さい。小学生がプリムラを利用して「また来たい、楽しかった！」といってくると嬉しくなります。プリムラではとても良いお姉さん、お兄さん振りを発揮して小さい者にとっても優しく接しています。

10月のプリムラはハロウィンの飾り付けをして、おやつにかぼちゃのゼリーを作りました。

## 10月のハロウィン写真



11月の利用は発熱に伴い咳、鼻水、下痢の症状が多い月でした。なんとなく朝から元気が無く微熱で「今日は多分いつもの保育園では発熱で呼ばれてしまう」と思ってプリムラを利用する場合があります。さすがに母の感で昼頃からは高熱になる事もありました。

嘔吐下痢の胃腸炎も多く、吐き気が止まっても元気が無く、普段の保育園での生活と食事には無理があります。プリムラではお腹に優しい食事で1日静かに過ごしています。

小児の感染症は流行があり、相変わらずプリムラの利用申し込みも日によって差がありました。

## 11月のプリムの飾りつけ



12月は、水痘、発熱風邪症状での利用が多く、ご利用をお断りする事が多々ありました。

水痘が3名、一般感染症4名の日もありました。お預かりできる定員は4名ですが、年齢、症状で預かれない場合もありました。プリムラは今年1年無事に終わり、新しい年を迎える事ができました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

これからも宜しくおねがいたします。

## 12月のクリスマス写真



1月は水痘が多く1日4名、5名全員水痘だけの日もありました。今年も暖冬のためか、インフルエンザはAもBも半ば過ぎよりパラパラ発生しています。下旬は一般の風邪症状、溶連菌感染症、水痘、インフルエンザでプリムラの3部屋はフル利用でした。前日の夕方保育園で発熱して診察投薬を受けていても、翌朝プリムラ入室時にインフルエンザの検査をします。陽性の場合には隔離が必要です。インフルエンザ流行の時期はインフルエンザかどうかの鑑別が必要になります。

### 1月のお正月写真



2月は昨年より更に暖冬の為か、風邪もインフルエンザも少なくプリムラの利用も昨年より少なくなっています。水痘は相変わらず発生しています。前日プリムラを予約して、翌朝のキャンセルは19件で先月より多くなっています。鼻水や咳はひどくても、翌朝熱がないと通常の保育園に通っています。また、前日熱が高くても翌朝熱がないと、登園して午後にもた発熱で呼び出されている事も多々ありました。「熱がないのなら、病気の子供と一緒に環境より元気な子供がいる普通の保育室のほうが良い」とキャンセルの電話をしてくる保護者の方もいます。病気の際は安静、睡眠、食事が大切です。プリムラでは高熱や、熱が無くても機嫌が悪い子供には殆ど1人のスタッフが付きっきりで抱っこをしたりして対応しています。度々水分補給をして、その子の状況に合わせて過ごしています。通常の保育園では、集団ではできません。保護者にとっては、仕事は休めないし「いつもの保育園に預けられる」のかもしれませんが、前日高熱があり、機嫌が悪かったのに大丈夫？と心配になります。余裕があれば登園は1日熱が無いのを確認してからのほうが安心ですね。

**3月**はインフルエンザ、下痢、水痘の感染症もあり、発熱下痢などの利用が多い月でした。

2月の利用が昨年より少ない分3月に感染が多くなっていた状況です。

3月になり寒さ暑さの差が激しく体調を崩す子供達が増えたようです。毎年インフルエンザの流行の前後は下痢などの胃腸症状が増えていますが今年は混在していました

3月の春サクラモグラ

